

神保地区社会福祉協議会の状況

令和4年7月現在

設立年月

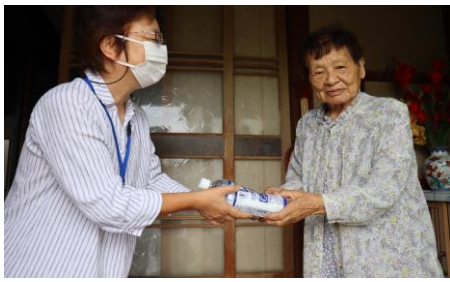
S3年5月22日

会 長	和田 茂		副会長	前川 英雄・鍋山 忠勲	
事務局所在地	地区センター内・公民館内・その他（会長、事務局長宅等） ○をお願いします				
事務局TEL	076-469-2497	事務局FAX	076-469-3449	事務担当	田村 明
人 口	4,869 人	世帯数	1,746 世帯	高齢化率	30.5 %
当年度予算額	2,120,000 円	年間会費(1世帯)	300 円		

主な活動等	<p>1. 配食サービスの実施（年12回）及び年末慰問の実施</p> <p>70歳以上の1人暮らし高齢者で配食を希望する高齢者の方々に、民生委員がお弁当を届け（7月、8月は熱中症予防で経口補水液OH-1）見守り、声かけ、何か困りごとがないか話しを聞く。また、年末慰問は70歳以上の1人暮らし高齢者宅を民生委員が訪問し毎年、実施しています。</p>
	<p>2. 社協と保健推進員会議の実施</p> <p>令和4年7月6日（水）19：00より神保公民館に於いて</p> <p>本年度実施の児童福祉推進事業（保健推進員による新生児宅訪問時にお祝いの記念品をプレゼント）の打合せ会議を開催。</p>

3. 広報誌の作成

「福祉だより」で地区社協の活動を掲載し、全戸配布している。



配食サービス活動（OH-1配布）



社協と保健推進員会議

会長のメッセージ	<p>コロナ禍で活動が自粛される中ではありますが、地域全体で支え合う力の再構築を目指し、地区社協として取り組んでまいりたいと思っております。</p>
----------	--

コミュニティだより

神保



～陽ざしやわらかく 風薫る神保の春～



4月末世帯数:1,746世帯 人口:4,869人(男:2,361人 女:2,508人)

第213号

神保地区ふるさとづくり推進協議会
神保地区自治振興会 TEL 469-2437

社会福祉だよりコーナー



新任民生委員に

舟木宏さん(上井沢)委嘱状伝達される

4月21日(木)神保公民館にて、新任民生委員として舟木宏さんに遠野赤久自治振興会会長より厚生労働大臣及び富山市長からの委嘱状が伝達されました。
舟木さんは、上井沢・赤川担当として身近な相談に応じ、福祉制度の紹介など必要なサービスを受けられるよう関係機関との連携し役として務められます。

ちゃんと帰っておいで

赤江川にサケ稚魚放流

寒さもようやく緩み始めた2月26日、赤江川流域の住民とつくる5つの環境保全会と小学校児童、園児らがサケの稚魚を約2千匹赤江川に放流しました。放流を通じて、命の尊さや命は受け継がれている事を理解し、川を綺麗に、環境を守る大切さを知り、身近な自然に興味を持ってもらおうと環境保全会と神保小学校が企画。
子供達は、バケツに入った体長4センチ程の稚魚を放ち、「ちゃんと帰っておいで」と声をかけていました。



社会福祉協議会主催「世代交流事業」

昔の遊びをしよう!

昔の遊びに親しむ会を開催

1月25日(火)神保小学校に於いて「昔の遊びに親しむ会」が開催されました。会場となった多目的ホールに1年生児童とご協力いただいた神保老人クラブの皆さんが集い、児童たちは「ふんぶんごま」や「お手玉、あやとり」等、昔ながらの室内で楽しめる遊びを体験しました。



実りの秋心待ち

さつま芋・コシヒカリ/苗を丁寧に手植え体験

5月18日(水)神保小学校1、2年生74名とじんぼ保育園年長児34名が「さつま芋苗植え体験」に参加しました。
まず、園児・児童は神保老人クラブの皆さんに苗の植え方をご指導いただきます。そして特製の竹くしを使いながら、丁寧に苗を植えていきました。仕上げに水をかけながら「大きくなーれ」とおまじないをかける声も聞かれました。
この後、観察活動などをしながら秋の収穫を待ちます。秋には老人クラブの皆さんと収穫し、焼き芋大会を開催する予定です。



じんぼ保育園 年長児



まずは植え方から教わります

5月19日(木)夏のような陽気の中「お米教室・田植え」が開催されました。神保小学校5年生53人を対象に、高日附の田んぼで神保老人クラブの皆さんを講師に行われました。
児童たちは裸足で泥の感触を楽しみながら、昔ながらの道具「ころがし」でつけた目印に従ってコシヒカリの苗を植えていきました。
さわやかな青空の下での屋外活動、泥の感触、老人クラブの皆さんとのふれあい、子供たちにとって神保ならではの特別な体験教室となりました。